

# RTMT からのデータ エクスポート

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[CLI からのレポート](#)

## 概要

この資料はユーザー フレンドリー テーブル形式で実時間監視 ツール ( RTMT ) を、システムのヘルス ステータスについての Cisco Unified Communications Manager ( CUCM ) の情報をチェックする役に立つツールである登録済みの電話、コンピュータ テレフォニー インテグレーション ( CTI ) 接続、等記述したものです。RTMT は Cisco リアルタイム情報 サーバ ( RIS ) データコレクタ、Cisco AlertMgrCollector ( AMC ) サービス、Cisco Tomcat 統計 Servlet、Cisco トレース 収集サービス、Cisco トレース 収集 Servlet、Cisco ログ パーティション監視ツール、シンプルオブジェクト API を、Servlet Cisco RTMT レポーター 監察する、アクセスプロトコル ( 石鹼 ) - リアルタイムサービス API、石鹼パフォーマンス Cisco Unified CallManager サービスビリティ RTMT、および Cisco Tomcat Service に依存しています。

## 前提条件

### 要件

Cisco は CUCM および RTMT のナレッジがあることを推奨します。

### 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は CUCM バージョン 7.1.5 および それ 以降に基づいていましたり、以前のバージョンのためにはたらくかもしれません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

# 問題

RTMT ツールで示される PDFファイルまたは Microsoft Excel 資料に表示する データをエクスポートすることを可能にするオプションがありません。

# 解決策

RTMT はエンドポイントの状態を、登録済みの電話のような、Cisco RIS データコレクタ サービスのメディア リソース、内線番号、Media Gateway Control Protocol ( MGCP )、H.323 ゲートウェイ、Session Initiation Protocol ( SIP ) トランクおよび CTI セッション、ポーリングします。CLI からのこのダイナミック 情報をチェックすることもまた可能性のあるです。

非常に一般的なタスクはすべての登録済み/未登録電話についての情報および電話負荷についての情報を検索することです。それは **Call Manager > デバイス検索 > 電話 ( あらゆるステータス )** の下の RTMT で見つけることができます。RTMT からのレポートのスクリーン ショットは Problem セクションで示されています。

CUCM バージョン 10.0 および それ 以降では、登録済みの電話についての同じ情報は **音声/ビデオ > デバイス検索 > 電話 ( あらゆるステータス )** の下の RTMT で表示することができます。

同じ情報を、IP 電話登録されていたチェックするために、アクティブなファームウェアおよび非アクティブ ファームウェアは、**提示 risdb クエリ電話コマンド**を入力します:

```
admin:show risdb query phone
```

```
----- Phone Information -----
#TotalPhones, #TotalRegistered, #RegisteredSCCP, #RegisteredSIP, #UnRegistered,
#Rejected, #PartiallyRegistered, StateId, #ExpUnreg4, 3, 1, 2, 0, 1, 0, 49,0

DeviceName, Descr, Ippaddr, Ipv6addr, Ipv4Attr, Ipv6Attr, MACaddr, RegStatus,
PhoneProtocol, DeviceModel, HTTPsupport, #regAttempts, prodId, username, seq#,
RegStatusChg TimeStamp, IpAddrType, LoadId, ActiveLoadId, InactiveLoadId, ReqLoadId,
DnldServer, DnldStatus, DnldFailReason, LastActTimeStamp, Perfmon Object

SEP6C416A369375, t7841, 10.147.94.124, , 0, 0, 6C416A369375, reg, SIP, 622, yes, 0,
509, malevich, 1, 1404913142, 1, sip78xx.10-1-1SR1-4, sip78xx.10-1-1SR1-4,
sip78xx.10-1-1-9, , , 0, , 1404913142, 2

SEP0018B9A0442B, c7941, 10.147.94.204, , 3, 0, 0018B9A0442B, reg, SCCP, 115, yes, 0,
115, allevich, 2, 1404913140, 1, SCCP41.9-3-1SR4-1S, SCCP41.9-3-1SR4-1S, , , 0, ,
1404913140, 2

SEPD0C7891413BC, dx650, 10.147.94.182, , 0, 0, D0C7891413BC, reg, SIP, 647, yes, 0,
532, kalevich, 4, 1404913141, 1, sipdx650.10-1-2-33, sipdx650.10-1-2-33,
sipdx650.10-0-2-32, , , 0, , 1404913141, 2

SEP8CB64FF7E2EE, , 10.147.94.133, , 3, 0, 8CB64FF7E2EE, rej, SCCP, 436, yes, 0,
335, NoUserId, 7, 1405069589, 1, , , , , 0, , 1405069635, 0

-----
Total count 4
-----
```

情報は Excel ファイルにエクスポートすることができます。提示 **risdb クエリ電話コマンド**の出力をテキストエディタにコピー アンド ペーストし、ファイルをと同時に .csv (「」区切られるカンマ分離されている値が「カンマによって」) ファイル保存して下さい。たとえば、名前

UCM\_export\_data\_RTMT2.csv と。

それから、Microsoft Excel とのファイルを開けばテーブル レポートの形式で表示する。

RTMT 出力と CLI コマンドの 1 つの違いはデバイス モデル カラムです。RTMT は電話モデルのユーザー フレンドリー プレゼンテーションが含まれています (たとえば、7841) およびその CLI の Cisco は対応した 数値です (たとえば、Cisco IP Phone 7841 のための 622)。数字 (列挙) 値の表の異なる電話のタイプを中から探すために、実行 SQL を『\*』を選択します TypeModel コマンドから入力して下さい。

コマンドは **risdb** が Call Manager サービスがアクティブになるコール処理 ノードでクエリ電話しか使用する必要がないことを示します。このコマンドがノンコール処理ノードで入力される場合、エラーメッセージ「PhoneTable の openMMF」は表示する失敗しました。

## CLI からのレポート

エンドポイントおよびサービスについての利用可能なレポートのリストを表示するために、提示 **risdb list** コマンドを入力して下さい。情報はまた RTMT で表示できます。

### CLI コマンド RTMT Location

電話	CallManager -> デバイス-> デバイス検索-> 電話 (どのステータスでも)
ctiextn	CallManager -> デバイス-> デバイス検索-> CTI デバイス (あらゆるステータス-> 完了)
h323	CallManager -> デバイス-> デバイス検索-> H323 デバイス (あらゆるステータス-> 完了)
mediaresource	CallManager -> デバイス-> デバイス検索-> メディア リソース (あらゆるステータス-> 完了)
huntlist	CallManager -> デバイス-> デバイス検索-> ハントする リスト (あらゆるステータス-> 完了)
ctimanager	CallManager -> CTI -> CTI 検索-> アプリケーション (あらゆるステータス-> 完了)
ctimanager	CallManager -> CTI -> CTI 検索-> 行 (あらゆるステータス-> 完了)
一口	CallManager -> デバイス-> デバイス検索-> SIP トランク (あらゆるステータス-> 完了)

CLI からのパフォーマンス カウンターをチェックするために、管理者は提示 **PERF** クエリ クラス「クラスネーム」コマンドを入力できます。Media Termination Point (MTP) リソースが呼び出されるかどうか確認する方法をたとえば、この例に示されています:

```
admin:show perf query class "Cisco MTP Device"
==>query class .

- Perf class (Cisco MTP Device) has instances and values:
MTP_2          -> AllocatedResourceCannotOpenPort = 0
MTP_2          -> OutOfResources                    = 0
MTP_2          -> RequestsThrottled                = 0
MTP_2          -> ResourceActive                   = 0
MTP_2          -> ResourceAvailable                 = 24
MTP_2          -> ResourceTotal                     = 24
```

パフォーマンス カウンタ コマンドの完全なリストを表示するために提示 **PERF** リスト クラスをコマンド入力して下さい。